

## 目次

I. 総括研究報告	
ゲノム情報を活用した遺伝性腫瘍の先制的医療提供体制の整備に関する研究 櫻井晃洋	1
資料 1	9
資料 2	13
資料 3	17
資料 4	21
第 1 回班会議議事次第および議事録	24
第 2 回班会議議事次第および議事録	38
II. 分担研究報告	
1. 婦人科がん治療医のHBOC 診療に関する実態調査解析結果の関連学会などへの 還元 青木大輔	44
2. BRCA遺伝学的検査受検者の全国登録 新井正美	48
3. MRIを用いた乳癌サーベイランスの有用性の検討 戸崎光宏	51
4. 米国における遺伝カウンセリングの実態調査 西垣昌和	53
5. 未発症者を含む遺伝性腫瘍診療の標準化、均てん化に向けた課題と提言 平沢 晃	57
6. 発症者および血縁者に対する BRCA 検査およびマルチ遺伝子検査 (MGT) の 適用基準の設定と診療ガイドラインへの反映 吉田玲子	68
7. 市民・当事者向け啓発活動および教育 PPI(患者・市民参画) 櫻井晃洋、太宰牧子	70
III. 研究成果の刊行に関する一覧表	74